

母校を訪れ室内楽班に寄付を

6月24日の関東同窓会総会で第19代の会長に就きました上原昇です。これから3年間、会員の皆様にはご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。初仕事で、前会長の高梨奉男さん(62期)と7月2日(日曜日)に母校を訪れました。ちょうど前日から松尾祭が開催されている最中でした。

先月の総会で母校室内楽班を招いて演奏会を開いたのは、記憶に新しいところです。演奏会終了後その場で、参加者に対して生徒達激励の気持ちとしてカンパを募りました。集まったカンパ金の中から15万円を室内楽班に寄付することにしました。

当日は、古城の門をくぐると通路は「アンデパンダン展」開催中で大賑わいです。

校長室で内堀繁利学校長(74期)と歓談後、室内楽班顧問の柳澤哲先生と班員代表に寄付金をお渡ししました。皆さん、大変喜ばれ、「関東同窓会の皆様に心から感謝します。」とのお礼のメッセージを託されました。私からも総会時、カンパに協力いただいた皆さんに改めてお礼申し上げます。

その後、同窓会館で室内楽班によるClassic Concertを聴きました。

3年生班員18名の卒業演奏会ということで、最期は涙、涙の感動シーンとなりました。

こうして、会長初仕事を無事終えて、上田を後にしました。

(17年7月2日記)

以上

【写真説明】

母校室内楽班に寄付金を贈呈。右より内堀校長、上原、柳澤先生、3人は班員代表

